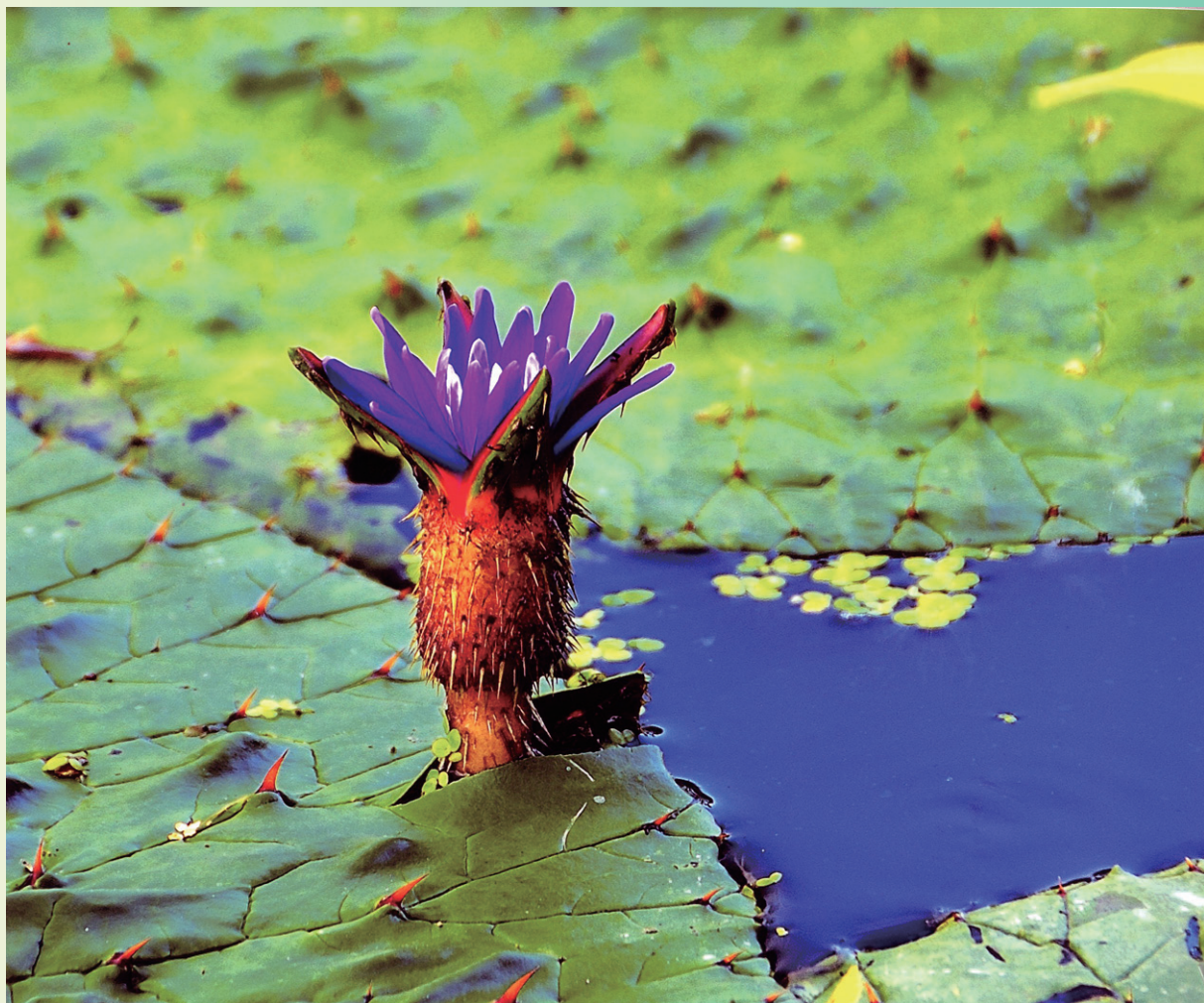


富山県

No.84 2017 年 7 月

中央植物園だより



第 19 回私の植物写真展入選作品「夏の妖精」 撮影 / 土肥 信一さん

‘夏の妖精’ オニバス（スイレン科）

氷見市十二町潟のオニバス発生地は国の天然記念物に指定されていました。しかし、現在では水郷公園内の池で毎年発生するだけとなりました。

ゲッカビジン観賞会

富山県中央植物園では毎年夜間開園「ゲッカビジン観賞会」を行っています（開花の 2 日間）。ゲッカビジンの 1 個の花は一晚限りの開花で、すべての株花がこの 2 日間で開花します。ゲッカビジン観賞会ではサンライトホールに 20 ～ 30 株を展示、花の数は数百に及ぶため、館内にはゲッカビジンの甘い香りが充満します。ゲッカビジンの開花日は予測が難しく、開花当日の朝しか判定できません。例年 6 ～ 7 月に開花しますが、今年の情報についてはホームページなどで御確認ください。



第68回全国植樹祭とやま 2017 開催記念 特別展

「富山の植物一森・川・海とその恵みー」開催レポート

第68回全国植樹祭とやま 2017 の開催を記念して5月19日から6月21日まで特別展「富山の植物一森・川・海とその恵み」を開催しました。今回の展示では、富山湾から立山連峰までの植生帯ごとの植物を紹介し、初日には展示の目玉の一つである「大きな木、小さな木」の大きな木タテヤマスギ（最大直径1.8m、樹齢およそ350年）の幹の輪切りの除幕式を行いました。また、海中の植生として海産維管束植物のウミクサ（県内で自生しているアマモとウミヒルモの仲間）を海水の水槽で展示したほか、河川やため池の絶滅のおそれがある水草も水槽で展示しました。

さらに富山県のレッドデータブック 2012 に掲載されているエッチュウミセバヤなどの絶滅危惧植物や植物由来の富山県産品も展示しました。富山県の植物相が多様であることが多くの来園者に理解されたことと思います。



タテヤマスギの除幕式の後、中田園長から説明を聞く
ピノキオナースリースクールの園児たち



左の水槽はウミヒルモの一種、右の水槽はアマモ

第68回全国植樹祭 リポート

5月28日に魚津桃山運動公園で第68回全国植樹祭が開催され、中央植物園では天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き樹木の苗や種子の育成をはじめ、代表者植樹、一般招待者植樹の苗木育成に協力し、当日はお手植え・お手播きの土づくりなどの準備にも参加しました。また、おもてなし広場では、(公財)花と緑の銀行の出展ブースにおいて、中央植物園で育成したお手植え・お手播きの樹種のうちサクラ4種の苗木や解説パネルを展示し、多くの招待者、参加者に見ていただきました。



植樹祭終了後の両陛下がお手植えされた場所



右上) お手植えの植え穴を調整する神戸課長。



右中) お手播きの土を整形する山下課長(左)と森林研究所長谷川上席専門員(右)



右下) おもてなし広場の花と緑の銀行ブースは、多くの来場者でにぎわっていた。

二口善雄の植物画に見る園内の植物

富山県中央植物園には、二口善雄画伯（1900-1997）から寄贈された 1900 点余りの植物画が収蔵されています。その中から、季節の植物を紹介します。



アーティチョーク（制作年不明）
雲南温室の東側に植栽されているアーティチョークは二口画伯の自宅に植えられていたものです。



ゲッカビジン（1971 年制作）
7 月上・中旬にゲッカビジン観賞を行います。

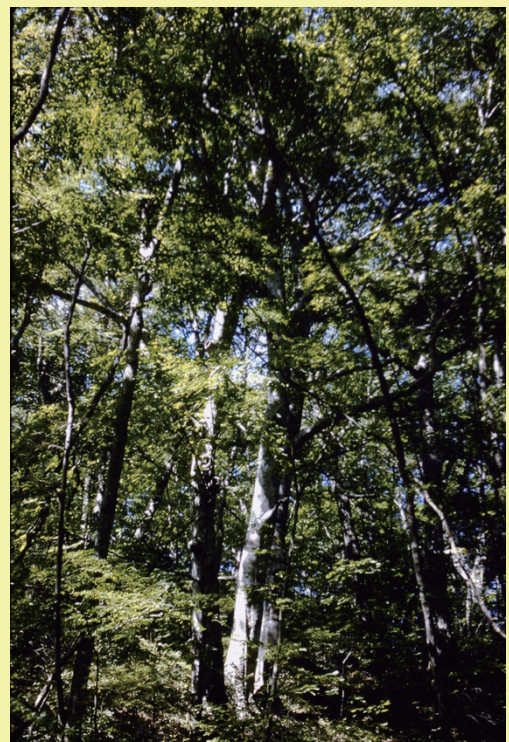


オニユリ（1958 年制作）
海岸の植物・河原の植物コーナーで 8 月に見ることができます。

富山の植物 ◎『ブナ』

栽培展示課長 山下寿之

山地の落葉広葉樹林を代表する樹種のブナは、富山県内では標高 500 m から 1200 m ぐらいに分布します。ブナの結実は豊作年と凶作年の差が大きく、地域的に同調し、4 年に一度豊作年があることが知られています。ブナの果実は栄養価が高く、クマなどの哺乳類の貴重なエサとなります。ブナの凶作年にはクマの捕獲数が増えることが知られています。ブナの花は植物園では 4 月上・中旬ごろ、葉の展開と同時に開花します（写真 A）。夏に殻斗（かくと：種子を包み出ている部分）が肥大し（写真 B）、10 月に熟すと殻斗が割れて（写真 C）果実が落ちます（写真 D）。



立山ブナ坂のブナ林

ソウコンニャク開花

地下の“塊茎”が象の足に似ており、英名では“Elephant Yam”と呼ばれます。大きな塊茎はえぐ味が強く、食用にするには叩き潰したりスライスして、焼いたり、長時間煮たりする必要があります。花にはハエがたかるぐらいの強烈な悪臭があります（写真左）。ハエの仲間によって花粉を運ばれることが知られています。

このほかコンニャクの仲間では花が美しいアモルフォファス・ブルビフェルも5月下旬から6月上旬に開花しました（写真右）。



催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

夏のラン展

7月8日（土）～7月9日（日）

私の植物写真展

7月21日（金）～8月30日（水）

友の会植物画部会

「ボタニカル・アート展」

9月1日（金）～9月20日（水）

私の植物画展

9月1日（金）～9月20日（水）

国立科学博物館 巡回展

「日本の生物多様性とその保全」

9月23日（土・祝）～10月18日（水）

■夏休み子ども企画

森のクラフト

7月21日（金）～8月30日（水）

※小学生と幼児、その親子が対象の行事です。

オオオニバスに乗ってみよう

8月18日（金）～8月20日（日）

受付時間各日とも9:30～11:00

13:30～15:00

※小学生と幼児が対象です。

■早朝開園

ハスの花の観賞会

7月15日（土）・16日（日）

6:00～

入園料 500円（6時以降通常開園）

■夜間開園

ゲッカビジン観賞

～7月19日までの開花日2日間

（開花状況により変更することがあります）

19:00～21:30

夜間入園料 250円

夜の熱帯植物探検

7月29日（土）・30日（日）

19:00～21:00

夜間入園料 250円

■講座・講習会

ボタニックガーデニングクラブ ◎要申込

くらしに活かすアロマテラピー

「植物の香りで美と健康を」

7月8日（土）・9日（日）

13:30～15:30

定員各日とも15名（参加費 1,000円）

会場：ドリアスホール（入園料が必要です）

植物画講習会 ◆要申込

9月9日（土）10:30～16:00

定員 10名

会場：ドリアスホール（入園料が必要です）

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

第1,2,4日曜日 13:30～14:00

ー園長と歩く植物園ー

第3日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール

緑のコンサート

9月2日（土）、10月7日（土）

14:00～15:00

◎要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から前日までに「電話」でお申込ください。

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から往復はがき、FAX、メール（botanic@bgtyrn.org）で受け付けます。



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00（入園は16:30まで）
（11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで）

休園日 毎週木曜日

（4月第1,2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園）

年末年始（12月28日～1月4日）

入園料 大人（一般および大学生）500円
団体料金（20名以上）400円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料
冬期入園料（12月～2月）
大人（一般および大学生）300円
団体料金（20名以上）240円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料
年間パスポート（購入日より1年間有効）2,000円

交通案内 JR 富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ」経由秋の島循環または「ファボーレ」経由速星行き（休日のみ）に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR 速星駅より車で約8分